

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

事業コード 33 事業名 経営指導情報等提供事業 戦略コード 4 戦略名 機動的・効率的な商工会
担当部署 企業振興部 担当課名 創生プラン推進課 担当課長名 加藤のり子 施策コード 17 施策名 シンクタンク機能の強化

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

経済環境や社会情勢の急速な変化に伴い、商工会に対する事業者のニーズは年々多様化・高度化しており、より総合的・戦略的な観点からのコンサルティング機能を強化する必要がある。

2. 事業のねらい

企業経営や地域振興に係る情報の収集や分析・提案、経営指導員の支援力強化に資する情報提供を行い、商工会を後方支援する役割を果たしていく。

3. これまでの評価結果

過年度 H29 B H30 B R1 A R2

シンクタンク機能として、事業承継及び人手不足(働きやすい職場環境)の重点事業に関する情報、中小企業白書や改正小規模事業者支援法のポイントなど、経営指導員等の現場支援力強化に役立つ情報をタイムリーに提供するとともに、支援事例研究会を開催し好事例を21商工会で共有した。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

重点事業と連動した好事例、各種統計、補助金、施策情報等の収集と分析し、商工会に対して有益な情報を経営指導情報等を通じてタイムリーに提供する。

【取組評価】

Table with 8 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows 76-79.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 18 columns: 取組コード, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 実績, 達成率, 達成度. Rows for 78 and 79.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

マスメディアや全国連等からの情報を収集・分析し、商工会にタイムリーに情報提供をしており、アンケート結果によると95%が県連合会からの情報を活用していると回答していることから、その必要性は高い。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

経営指導情報や企業情報・業界情報など商工会活動に関する幅広い情報をタイムリーに発信し、目標件数を大きく上回った。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

調査機関の情報など様々な情報ツールを活用することで、効率的に情報収集・提供を行った。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

経営指導員等の現場支援力を強化するため、経営指導情報や企業・業界情報、事業者支援に必要となる情報をタイムリーに提供した。

3. 課題

商工会の事業者支援に必要な情報を収集、加工する能力を高め効率の良い提供に努めるとともに、経営支援の好事例の共有化を進め、商工会の支援力強化を図る必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

ポストコロナ時代を見据えた事業者支援施策や県連合会に掲載した記事の関連情報、各種調査の集計・分析結果など、商工会における経営支援に有益な情報を提供する体制を整える。先進的な取組を行う企業や支援事例をデータベース化するとともに、経営支援事例発表秋田県大会を開催し、支援スキルを共有することで商工会の支援力強化を図る。